



新型コロナウイルス感染症対応 若竹大寿会スタッフニュースレター

ご関係の皆様
地域の皆様へ

入所施設でのワクチン接種が開始されました！

まだまだ新型コロナウイルス感染症の話題がつきず、関東においても変異株の流行がみられております。ご利用者様及びご家族様、また職員の皆様におかれましては引き続き、感染症対策にご協力ください。

若竹大寿会内の高齢者入所施設では、4月14日より新型コロナワクチン接種が開始されました。現在、若竹大寿会の入所施設では、特養・老健の全8施設中6施設が1回目の接種を実施し、ご利用者様及びスタッフ合計で約1,110名が予防接種を実施しました。5月下旬に全8施設で1回目の予防接種が終了予定です。

横浜市立大学附属病院の加藤医師によるワクチン接種に関する講座を全ての職員が受講し、各施設でかかりつけ医の先生と事前準備を十分に行いました。既に、複数の施設でワクチン接種が開始となりましたが、各施設において滞りなくワクチン接種を進めることができいております。また、現状としては、当法人内のご利用者様及び職員で大きな副反応もなく、順調に経過しております。

今後、接種予定の皆様におかれましても安心して接種できるように法人として準備をすすめていきたいと思っております。

ワクチン接種について不安や疑問のある方必見！

横浜市立大学附属病院感染制御部部長 加藤英明先生が「高齢者施設におけるワクチン接種の重要性と新型コロナワクチンについて」わかりやすく解説しています。新型コロナワクチンを「接種するべきか」、「接種しないべきか」迷っている方や、ワクチン接種って不安という方は必見です。

【内容】

- ・全ワクチンの概要
- ・新型コロナワクチンとは
- ・新型コロナワクチンの効果
- ・新型コロナワクチンの副反応

動画はこちらから

<https://wakatake.net/mainnews/5676/>



第4波に向けて、各施設内で再度☑しましょう！

ご利用者様が安全に！安心して！若竹大寿会の施設やサービスを利用いただき、ご利用者様が「幸せになれる」ようにスタッフ一同で新型コロナウイルス感染症に負けずに引き続き、以下の内容を徹底し、サービスを提供していきます。職員の皆様におかれましては、以下の内容について改めてご確認をお願いいたします。

- マニュアル・フローが職員がすぐに使える場所にある、または、掲示し、ご利用者様に滞りなくサービス提供できるように工夫している
- 法人内で作成したマニュアルをそれぞれの職員が順守している
- ご利用者様の食事介助、口腔ケア、入浴介助の際職員がマスク、フェイスシールド、(手袋、ガウン)を着用している
- 次亜塩素酸水を使用しない
- 定期的に効果のある環境クロスまたは、アルコール(70%以上)次亜塩素酸ナトリウム(0.05%)で施設内を消毒している
- 有症状者、濃厚接触者、感染者が出た場合の対応を定期的に共有している

若竹大寿会ホームページでも、感染症の最新情報や研修動画などをお知らせしています。是非、ご覧ください。



ワクチン接種した人の感想

接種する前は痛いかな。と心配でした。実際に打った時も痛みもなかったです。副反応もなかったの、安心しました。

とりあえずは一回目が終わりホッとしています。翌日、筋肉痛のような痛みがありましたが、2日後にはなくなりました。早く二回目を終え、ある程度の安心感を得たいです。



ワクチン接種に従事した人感想

午前中に看護師が注射器への希釈液を作り、準備するのが長時間にわたり、強い緊張感を感じました。

思ったよりスムーズで短時間で終了しました。事前に法人で準備した賜物だと思います。2回目の接種の方が副反応が強いと聞いているので、誰もが多少なりとも心配しています。シフト上の考慮が出来るよう、少し準備をしておいた方が良くと思います。



本号作成者

はじめまして、本年度の4月より若竹大寿会に入職しました保健師の大谷茂と申します。

現在、法人内の感染対策をさせていただいております。新型コロナ禍であり、ご利用者様、ご家族様、職員の皆様が少しでも安全に過ごすことができるように法人内の感染対策に取り組んでまいります。新型コロナウイルス感染症だけでなく、その他感染症について質問や困っていることがありましたら、本部までご連絡ください。

また、本年度中に法人内で訪問看護事業の立ち上げをさせていただくことになりました。今後、多くの皆様にお世話になると存じます。どうぞ、よろしく願いいたします。



発行：社会福祉法人 若竹大寿会
住所：横浜市神奈川区平川町2-4
電話：045-548-9233
メール：main@wakatake.or.jp